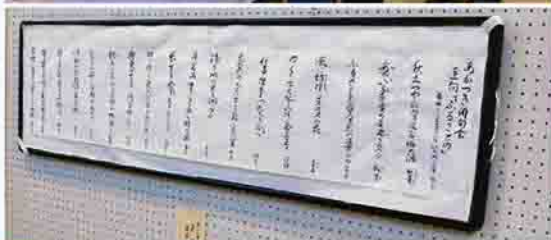


趣味でハツラツ! 充実人生!!

市文化協会部会紹介 FILE.3

文学部会



文学部会は、あかつき俳句会、たちばな俳句会、一水会、はなぶさ俳句会の4句会が加入し、現在28人が活動しています。各句会で、例会に持ち寄った句を互選して講評し合い、市民文化祭や地区文化発表会への出展、各紙俳壇への投稿などを行っています。

俳句は、五・七・五の17文字に季語を1つ入れて詠むのが基本ですが、ペンと紙があれば誰でも気軽に楽しむことができます。作文や詩と違い、短い文字数で情景を表現するため難しくもありますが、言葉選びや語順で伝わり方が大きく変わり、とても奥が深いものです。各句会では、参加してくれる人を募集しています。俳句に興味がある人、始めてみたい人は、ぜひ、気軽に連絡してください。

文化協会に関する問合せは、■生涯学習課(☎2500)へ。

たちばな俳句会で活動しています。高齢化もあり、文学部会の会員や参加句会が年々減っています。俳句は、しっかり詠もうとすると難しく感じるかもしれませんが、日常の一こまや旅の思い出を、日記のように好きに書けるのも魅力の一つだと思います。難しく考えず、一緒に楽しんでみませんか。



文学部会長
高橋 絹江さん
(北橋町下南室)

発行 渋川市 編集 市長戦略部秘書室
〒377-8501 群馬県渋川市石原80
☎0279-2111 ☎0279-26541

☎https://www.city.shibukawa.lg.jp/
印刷 シンチーナル印刷所

この広報誌は自然環境のため
再生紙を利用し、環境にやさしい
植物油墨を使用しています

表紙の写真



本市出身のパラアスリート唐澤剣也さんが、東京2020パラリンピック陸上男子5,000m(T11)で見事に銀メダルを獲得しました。メダルを手に凱旋した唐澤さんは、「渋川市民の皆さんの応援が走るエネルギーになりました。皆さんにメダルを見てもらって、喜びを分かち合いたい」とメッセージを寄せてくれました。

編集後記

今号の表紙写真の撮影で、唐澤剣也さんを取材させてもらいました。メダルを獲得した感想を聞くと、「伴走者や多くの支援者に支えられて出場した夢の舞台。その方たちとつかんだ銀メダルなので、とてもうれしい」と話してくれました。今後は競技を続けながら、パラスポーツの普及に協力していきたいそうです。これからますますの活躍を心から期待しています。(く)



我が家の Vol.30
ペット自慢



くしくし
(1才)

かぼちゃの種と猫のエサが大好物の男の子です
金岡 佳慧さん(行幸田)



ベッキー
(13才)

まだまだ元気いっぱい! 少年の心を忘れません(^-^)
山岸 杏奈さん(吹屋)

防災無線の自動音声電話番号

☎0800-800-7373

ほっとマップメールで
市の情報を配信



「マチイロ」で
広報しづかわを配信

